

健康的な生活習慣を

平川・
徳賀小

弘大などが公開授業

中南地域6市町村の協議会(会長・戸塚学教育委員会と弘前大学教育学部、弘前大学院医学研究科など)で構成する中南地区連携推進

賀小学校で開いた。中
路重之同研究科長ら
が、健康的な生活習慣

を身に付けることの大
切さなどを児童に分か
りやすく伝えた。

同協議会は、弘大と
各市町村が締結した教
育活動に関する連携協



中路研究科長(右奥)らが児童に正しい生活習慣の大切さなどを伝えた公開授業

定に基づき、今年3月
に発足。公開授業は体
験型健康教育の小学校
モデルの提案・普及を
目的に今年度、同校で
計6回開かれる。

29日は6年生40人を
対象に、1、2回目を
開催。教育関係者ら約
110人を前に、「な

ぜ青森県は短命県？」
「生活習慣病ってどん
な病気？」のテーマで
同校教諭と中路研究科
長が授業を展開した。

中路研究科長は、本
県の死亡率が全世代で
平均寿命1位の長野県
を上回っている指

摘。喫煙や多量飲酒の
害、日本人の死因の約
7割を占める3大生活
習慣病の原因、動脈硬
化と血圧の関係などを
丁寧に解説し「健康で
長生きするためには自
分の生活習慣をきちん
と考えることが大切」
と強調した。

児童は自分の血圧を
測るなどして健康につ
いて考え、内海空君
(12)は「病気のことや
気を付けなければなら
ないことが分かった。
お父さんにも教えた
い」と話した。

(小林亜希子)